



LED FOG TYPE1 取扱い説明書〈12V車用〉

この度は、CATZ LED FOGランプをお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取扱い説明書」をよくお読みください。
また、本製品をご使用いただく間、必ず、お手元に置いてご活用ください。

120829

△ ご注意

本製品は、純正フォグランプと交換タイプになります。 装着の際、適合確認の上、装着を行なってください。

製品仕様

・使用電圧範囲 DC9V～16V ・消費電力 12V/6.6W ・ECE規格 R19-03 Class F3取得

部品構成

①LED FOGランプ
ドライバーユニット 2個

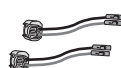


②ステー 各2個

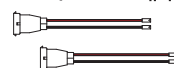


※ステーは成形ガイドでつながった状態で梱包されておりますが、外れている場合もあります。

③PSX24W用ハーネス 2個



④H8/11/H16用
ハーネス 2個



⑤インシュロック 6個



⑥M3×8ネジ 8個



⑦M5×16スクリュー 8個



⑧スポンジシール 4個



※この取扱い説明書は、本製品をご利用になる期間中、紛失しないように大切に保管してください。

※PSX24Wバルブが装着しているフォグランプの場合、コントロールハーネスは、③を使用します。

H8、H11、H16バルブが装着しているフォグランプの場合、コントロールハーネスは、④を使用します。

△ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- レンズ面に物をぶつけたり、無理な力を加えたりしないでください。ガラスが破損し飛散した場合、ケガの原因となることがあります。
- 点灯中や点灯直後はランプやバルブが熱いので手や肌など触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。
作業は、ランプスイッチをOFFにし、ランプが冷えてから作業を行ってください。
- 点灯中の光を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- 火災の原因となりますので、紙や布などでランプ本体をおおったり、燃えやすいものや引火する危険性がある環境（ガソリン可燃性スプレーシンナー、ラッカー、粉じんなど）で 사용하지しないでください。
- 分解、改造は行わないでください。火災、ケガ、故障の原因となります。
- 走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所へ停車し、よく点検を行ってください。

△ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 本製品は、自動車用フォグランプです。自動車以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は、12V車専用です。12V車以外での使用はしないでください。
- 本製品は、ECE規格(R19-03 Class F3)認定を取得しておりますので、保安基準に適合しております。
- 法規上、フォグランプは同時に3灯以上点灯することができません。
- 本製品の光源はLEDを使用しております。ハロゲンバルブの様に光源のみを交換することはできません。
- フォグランプを点灯するとオーディオ等にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
- 本製品は雨天走行や洗車などにより、レンズ内が一時的に曇ることがあります。また、ランプ内と外気の温度差により、空気中の湿度がレンズ内に結露することがありますが、これらは雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様な現象で、機能上の問題はありません。
- エンジン停止後は、バッテリー保護の為、長時間の点灯はさけてください。
- コードのグロメットを根元で急激に曲げないでください。防水性が低下し水、ホコリが浸入する恐れがあります。
- 防水キャップは外さないでください。水の浸水による故障の原因となります。
- 塗装などに悪影響を与える原因となりますので、ランプを洗浄する場合は、水で薄めた中性洗剤を使用し水洗いしてください。
ベンジンやシンナー系薬品は絶対に使用しないでください。
- 装着時は、必ず、光軸の確認及び調整をお願い致します。

△ 取扱(取付)に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

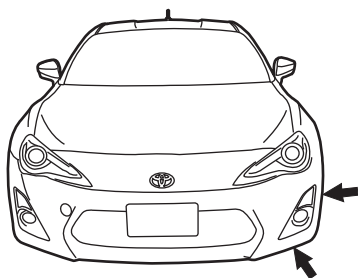
- 作業は平らな場所で、車両が動きださないように安全を確保してから行ってください。
- 絶対にドライバーユニットを接続しないまま、点灯させないでください。LEDが破損します。
また、ランプ、ドライバーユニットの分解、改造は行わないでください。行なった場合は、保証対象外となります。
- エンジンルームが十分に冷えてから取付作業を行ってください。ヤケドの原因となります。
- 車両側コネクターの検電を行い、プラス、マイナスがどちらか確認を行ってください。
プラス、マイナスを間違えて接続しますと、故障の原因になります。
- コネクタを外す際は、コードを引っ張らず、コネクタ本体を持って外してください。
- エンジン、ランプスイッチをOFFにし、エンジンルームが十分に冷えてから作業してください。また、車両取扱説明書でヒューズの位置を確認し、ヒューズボックスからフォグランプのヒューズを外してください。
- 本製品を取付けの際には、本取扱説明書、及び車両メーカー作成の作業マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
スクリューの締め付けがゆるいと光軸のブレ、脱落の原因となります。確実に固定してください。
- 車両にランプ本体を固定する場合、車両の純正フォグランプを固定しているタッピングスクリューを使用して固定します。
本製品を、お取付けの際、タッピングスクリューの緩みが無い確認の上、増し締めしてください。
ただし、強く締め付けると破損の原因となります。 ※参考 締め付けトルク T=3.0N・m(31kgf・cm)
- 作業終了後は、ランプ本体が確実に固定されているか確認を行ってください。
取付けが不完全な場合、ランプ本体の落下の原因となります。

下記のイラストは、トヨタ86(ZN6)をモデルに作成しております。

フェンダーライナーや Fogランプを脱着する際は、メーカー作業マニュアルを確認の上、安全に作業を行ってください。

※作業の際には、車両によりバンパー脱着が必要な場合があります。脱着の際は車両にキズがつかないように慎重に作業を行ってください。

※車両側電源コネクターの検電作業終了後、ショート防止の為に、車両側 Fogランプヒューズを外してから作業を進めてください。



1. ドライバーを使用し、樹脂クリップを外してください。(図1)
(ドライバーの先端に布を巻いて作業を行なうとキズが付くのを防げます。)

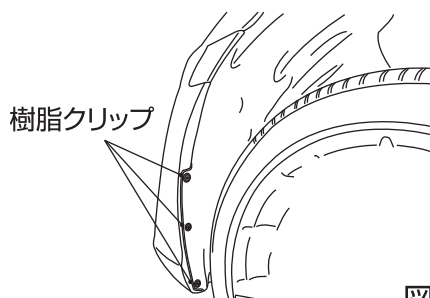


図1

2. ボルトとクリップを外しフェンダーライナーをめくってください。(図2)

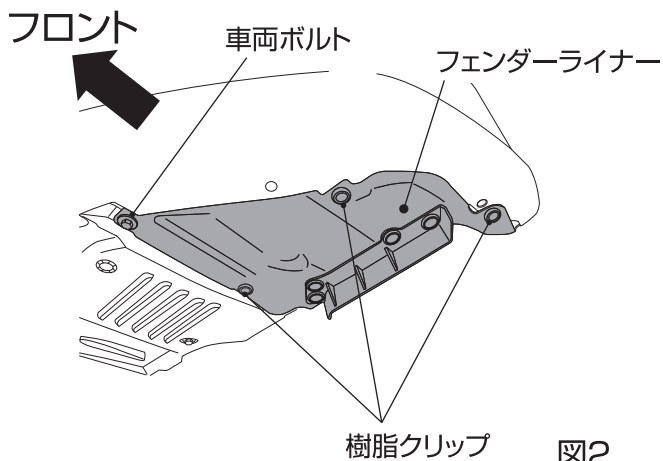


図2

3. 車両側電源コネク터를外し、①スクリーンを外して慎重に純正 Fog を外してください。(図3)

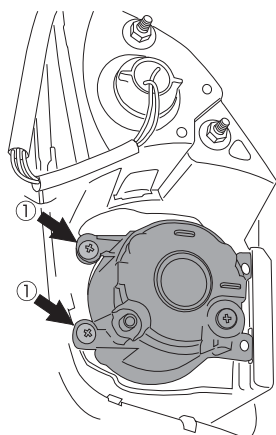


図3

4. LED Fogランプに付属の M3×8 ネジを使いランプ側 A とステー側 A' を合わせ、固定してください。
次に、ランプ側 B とステー側 B' に付属の M3×8 ネジを取付けランプの光軸を調整します。(図4)

注意

- ・装着してからは、角度調整できないので、仮装着を行ないランプの角度調整を行なってください。
- ・LED Fogランプを取付けの際、ガーニッシュ(カバー)に干渉によりキズ付く場合があります。
- ・上下の取付けを間違わないようにしてください。

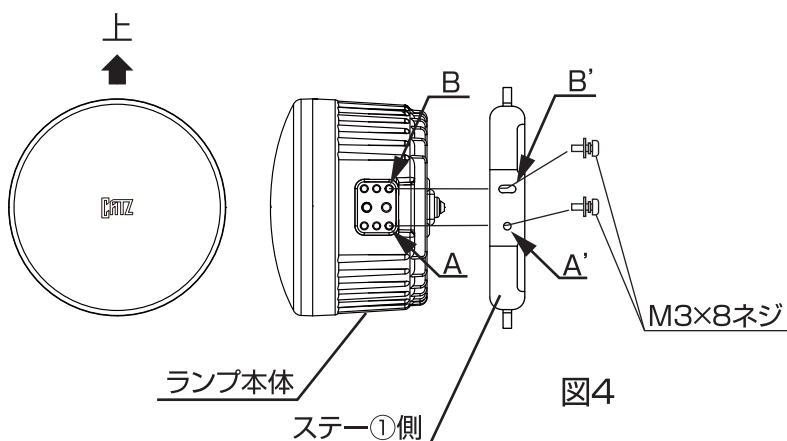
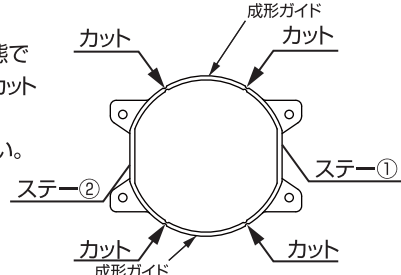


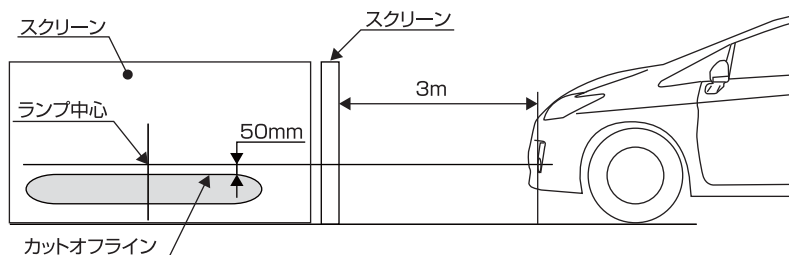
図4

参考

成形ガイドが付いた状態で梱包されておりますが、カットしてもご使用できます。
お好みで、ご使用ください。



・光軸は、光軸調整ボルトで、下図の通りに調整してください。



- 1) 主光軸は前方40m以上照射しないように調整してください。
- 2) 図の様に Fogランプを点灯して、3m前方のスクリーン上に照射し、カットオフラインの基準にして光軸(エーミング)調整を行ってください。

アドバイス

- ・右側も同じ要領で作業を行ってください。

注意

- ・フェンダーライナーをめくり作業を行うので、ライナーなどの端面でのケガに注意し作業を行ってください。

5. スターの取付け、光軸調整が終了しましたら、純正フォグランプと同じ方法で、車両から取外したスクリーを使いランプ本体を車両へ確実に取付けてください。(図5)

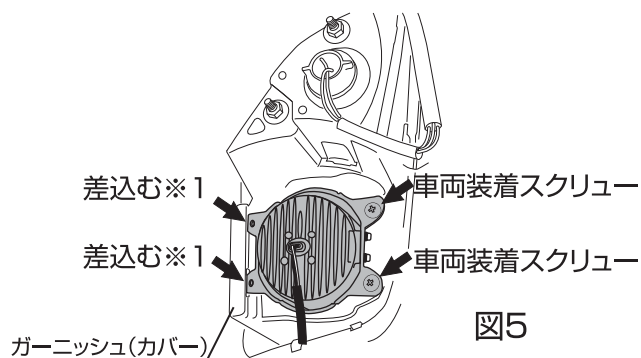


図5

- ※1. 車両の個体差によりLED FOGランプのスターを差し込むガーニッシュ(カバー)の穴が大きく、前後方向にがたつきが生じる場合がございます。
一度LED FOGランプを仮付けしていただき、ランプ本体が車両に固定されているかをご確認ください。
万一前後方向にがたつきが生じている場合は図6の様にLED FOGランプのスターを差し込む側へ付属の⑦スポンジシールを貼り付け、車両へ装着をおこなってください。
※この作業は反対側のLED FOGランプを装着する際にも同様の作業をおこなってください。

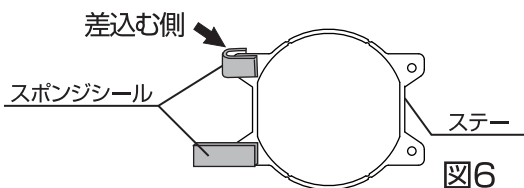
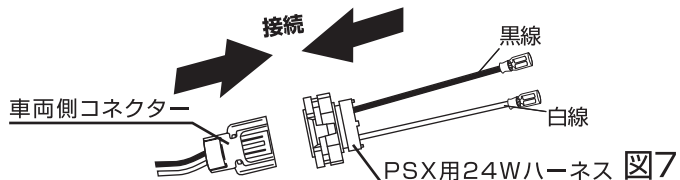


図6

注意

- ・LEDフォグランプを取付けの際、ガーニッシュ(カバー)に干渉によりキズ付く場合があります。
- ・上下の取付けを間違わないようにしてください。
- ・タッピングスクリーを使用して固定するので強く締め付けるとネジ部の破損の原因となります。

- 6-1. 車両側電源コネクタ(バルブに接続されていたコネクタ)とPSX24W用ハーネスを接続してください。
※車両に装着しているバルブ形状がH8、H11、H16バルブの場合は、H8/H11/H16用ハーネスを使い、下記の手順を参考に作業を行ってください。(図7)



- 6-2. PSX用ハーネスのギボシ端子メスの白線と黒線のどちらの配線が(+)プラス/(-)マイナスなのかテスターを使い、確認してください。(図8)

※例 トヨタ86の車両側プラスは、白線です。

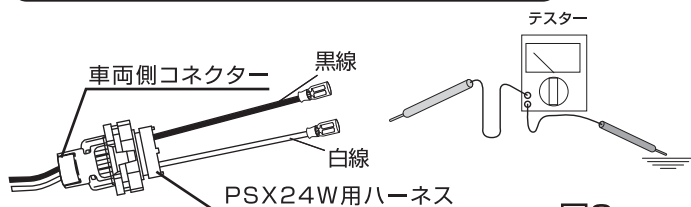


図8

7. ドライバーユニットから出ているギボシ端子オス赤線とPSX24W用ハーネスの(+)プラス側ギボシ端子メスを接続してください。
次に、ドライバーユニットから出ているギボシ端子オス黒線とPSX24W用ハーネスの(-)マイナス側ギボシ端子メスを接続してください。(図9)

※下記、配線方法は、トヨタ 86をモデルにし作成した配線図です。別の車両へ装着前には、必ず、(+)プラス/(-)マイナスの確認を行ない、配線の接続を行なってください。

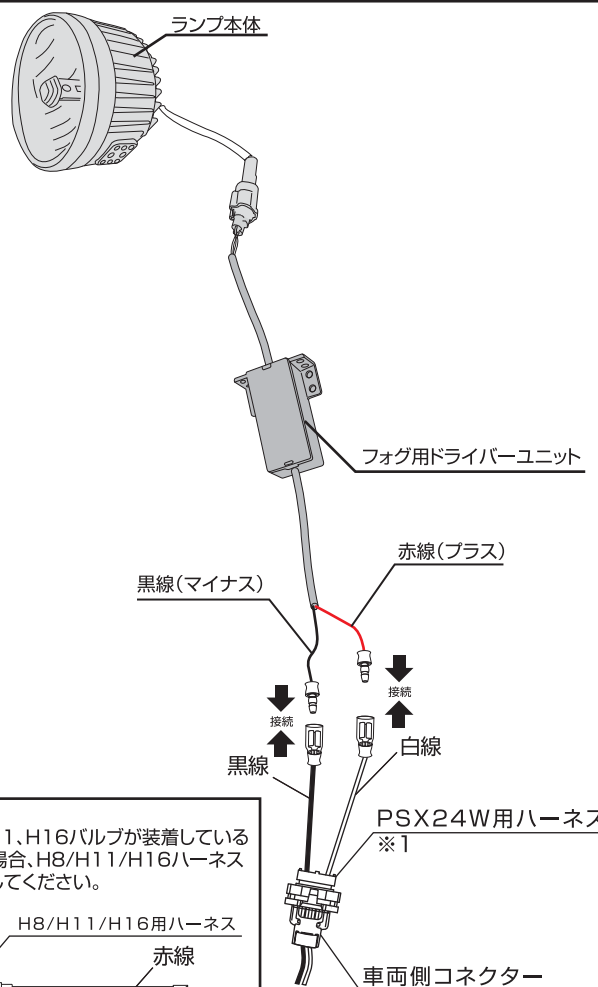


図9

8. フォグランプ本体から出ているドライバーユニットをタイヤカバー裏側の車両サービスホールAを使い、付属のスクリーでドライバーユニットを車両に固定してください。(図10)

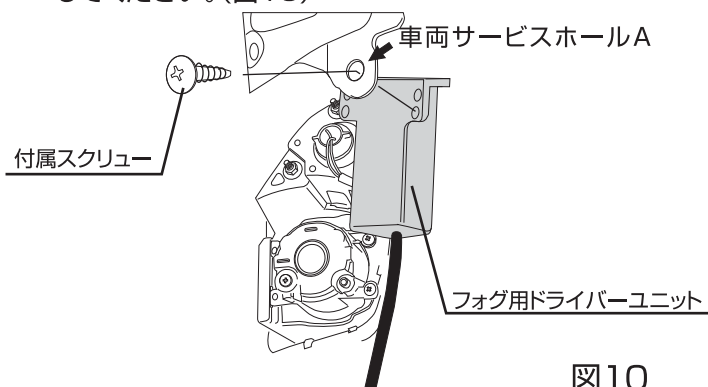
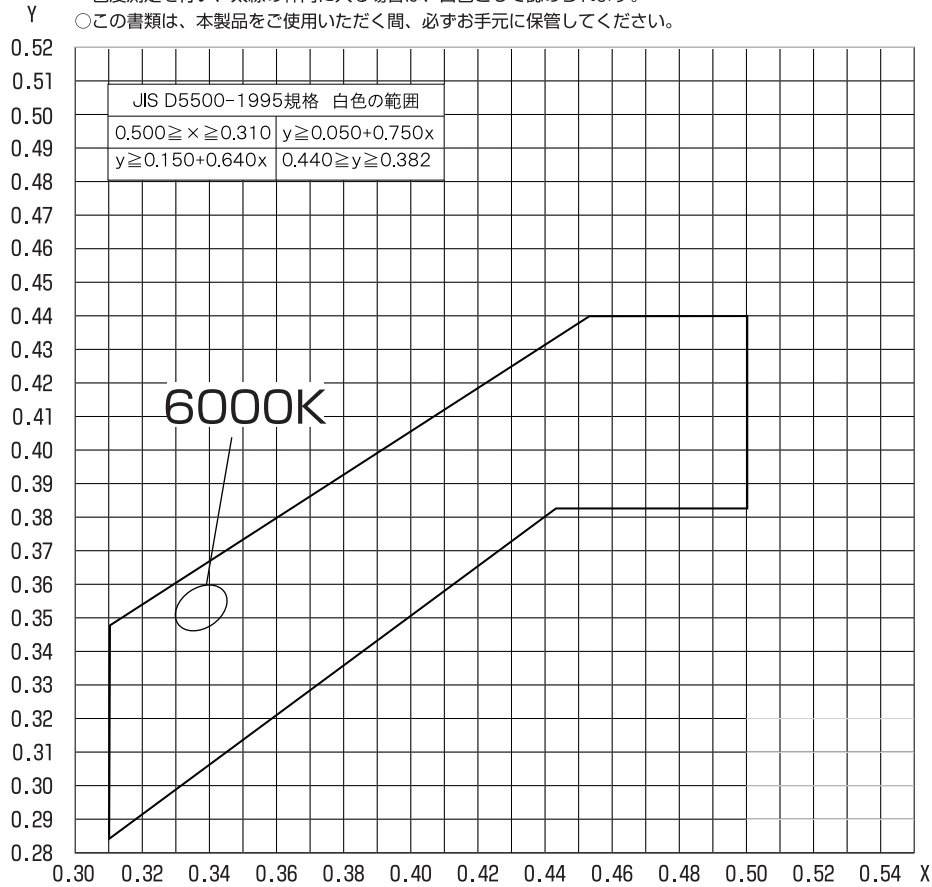


図10

9. 全ての作業が終了しましたら、取外したヒューズ、その他の部品を復元してください。

車検対応の色度について

- この度は、本製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
- 下記グラフは、日本工業規格(JIS規格)D5500の白色/淡黄色範囲をグラフ化したものです。
色度測定を行い、太線の枠内に入る場合は、白色として認められます。
- この書類は、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に保管してください。



トラブルシューティング

◎全く点灯しない

フォグランプスイッチはONになっていますか？

YES ↓

プラス/マイナスは間違っていないですか？

YES ↓

端子、 Fog用ドライバーユニットは正常にコネクタに接続していますか？

YES ↓

車両側ヒューズは切れていませんか？

YES ↓

LED FOGランプに異常が発生している可能性があります。 取付けを行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

NO



フォグランプスイッチをONにしてください。

NO



コネクタから端子を外し、入れ替えてください。

NO



端子、 Fog用ドライバーユニットを正常にコネクタに接続してください。

NO



新品のヒューズと交換してください。

◎片側が点灯しない

各コネクタは確実に接続されていますか？

YES ↓

プラス/マイナスは間違っていないですか？

YES ↓

端子、 Fog用ドライバーユニットは正常にコネクタに接続していますか？

YES ↓

LED FOGランプに異常が発生している可能性があります。 取付けを行った販売店(発売元)で点検をお受けください。

NO



コネクタを確実に接続してください。

NO



コネクタから端子を外し、入れ替えてください。

NO



端子、 Fog用ドライバーユニットを正常にコネクタに接続してください。